

5	NR/MRS/RS/CR.7	The practical utilization of remote sensing technology for the management and conservation of natural resources	United Nations
4	NR/MRS/RS/CR.8	ERTS and Skylab Programme in Malaysia	Malaysia
4	NR/MRS/RS/CR.9	Application of remote sensing technology to natural resources development in Bangladesh	Bangladesh
8	NR/MRS/RS/CR.10	Planning Organization and Management of National and Regional Remote Sensing Programmes	Thailand
6	NR/MRS/RS/CR.11	Tectonic analysis of east and southeast Iran using ERTS-1 imagery	Iran
6	NR/MRS/RS/CR.12	Application of ERTS imagery in the field of water and marine resources	Iran
6	NR/MRS/RS/CR.13	The use of ERTS-1 images in geology. The Indonesian experience	Indonesia
4	NR/MRS/RS/CR.14	Status of remote sensing in India	India
6	NR/MRS/RS/CR.15	Regional geophysics, remote sensing and mineral search -some suggestions from a combined analysis of parts of Western ESCAP region	India
4, 6	NR/MRS/RS/CR.16	Additional information on status of application of remote sensing survey in Thailand and experiment in geological interpretation of ERTS-1 imagery	Thailand
9	NR/MRS/RS/CR.17	Future development of and training in remote sensing for the ESCAP region	Secretariat
4	NR/MRS/RS/CR.18	Remote sensing in Bangladesh	Bangladesh
6	NR/MRS/RS/CR.19	Remote sensing of natural resources of Bangladesh	Bangladesh
8	NR/MRS/RS/CR.20	Bangladesh national programme of the Earth Resources Technology Satellite ERTS-B	Bangladesh
4	NR/MRS/RS/CR.21	Status of remote sensing activities in Indonesia	Indonesia
9	NR/MRS/RS/CR.22	Training of personnel in remote sensing operations and interpretation of data	Thailand
6	NR/MRS/RS/CR.23	Remote sensing applications in the Ministry of Agriculture and Natural Resources of Imperial Government of Iran	Iran

地学と切手



フランス
潮汐発電所
建設記念切手

P. Q.

エネルギー問題打開のひとつとして 潮流の力 または干満の差を利用して発電するアイデアは古くからあった。鳴門海峡の潮流は 最大時速 20km にも達するしその流れを目前にみた人は誰もこのエネルギーを何とかして利用出来ないかと考えることであろう。しかもこのエネルギーは月の引力と地球の自転に起因するという 人類にとっては「永久機関」に相当するものである。

しかし問題は簡単ではない。① 海峡は航路として重要であり 発電のために締め切るわけにはいかない。② 潮の干満は電力消費の都合に合わせるのに困難である。③ 潮汐のエネルギーは思ったほど大きなものでなく よほどの条件に恵まれなければ 近代的な発電所の規模—最小10万キロワット—には達しにくい。潮汐のエネルギーは総量としては大きいのであるが—総量は 3×10^{12} ワットで火山および温泉が地上に運び出すその10倍にあたる一貧乏である。

1966年にフラン ノルマンディーのランス川河口で世界最初のそして現在でも唯一の潮汐発電所が完成した。ここは干満の差が最大13.6mあって 船舶の航行がほと

んどなく 地形的にも締切堤が短かくてすむ利点があった。1万キロワットの発電機24台で合計24万キロワットを発電し 地元のイール・ピレータ地方の電力を一切まかない さらに余った分をパリに送電しているという。しかしこの発電所の施設コストは干満の位相に応じてタービンのピッチを変えるとか 干満両時に発電するとか 海水を一種の揚水発電所のようにしてより効率を上げるとかの工夫がこらされているが 1キロワットあたり20万円にもぼり 新鋭火力発電所の5倍に相当する効力の悪さがある。この発電所の完工式に出席したド・ゴール大統領は フランスの偉大と技術の進歩をたたえる演説をしたのだが 終ってから 「高くつきすぎたよ。この種の発電所はこれきりで止めた。原子力というものがあるからね」と独り言を言ったとか言わないとかの話が伝えられている。いずれにせよ新技術に対するフランスの積極性がうかがえる。

一方 最近の「人民中国」誌は 広東省順徳県では珠江の潮位差を利用して発電し この県の60パーセントの農業用電力をまかなっているとつたえている。

わが国にもかつて有明海に発電所を建設する計画があったが 1キロワットあたりの建設費が当時で30万円にもつくと計算されたために抛棄された。しかし最近の石油資源の枯渇問題が叫ばれ クリーン・エネルギーが求められているおりから 潮汐発電が必ず見直されると期待する声もある。だが ますます増大する人類のエネルギー需要に応じるようになるには まだ相当の問題がありそうである。

切手は 1966年12月3日に発行された。